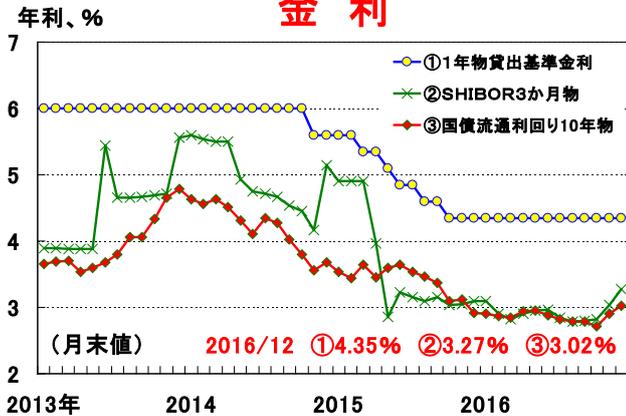


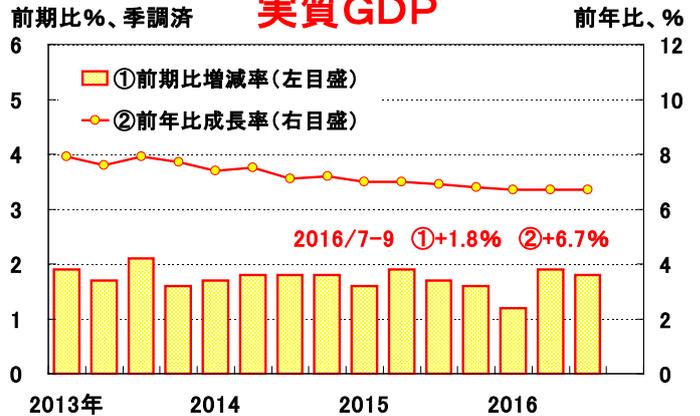
グラフで見る中国経済 2017年1月号(No. 92)

中国景気は緩やかに持ち直している。まず企業部門では、2016年11月の輸出が前年比+0.1%とわずかながら8か月ぶりに前年実績を上回り、また同月の鉱工業生産も同+6.2%と、自動車製造の増勢拡大もあり、伸びがやや高まった。12月の製造業PMIも51.9と4か月連続で中立水準の50を上回り、約4年ぶりの高水準となった。内訳をみると、「生産」は約6年ぶりの高水準を記録し、生産の先行指標である「新規受注」も29か月ぶりの高水準となった。また家計部門では、11月の小売売上高が前年比+10.8%と2015年12月以来の高い伸びとなった。

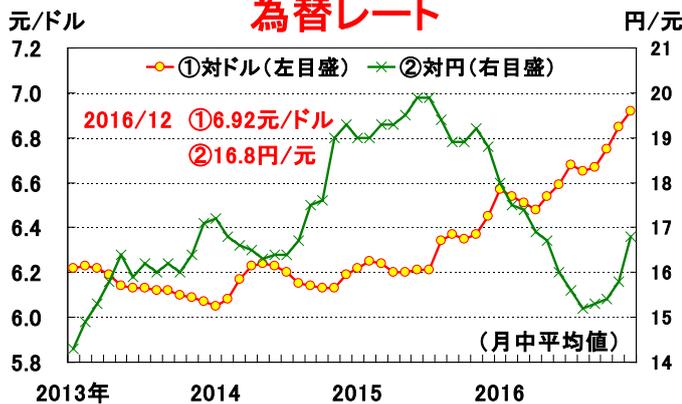
金利



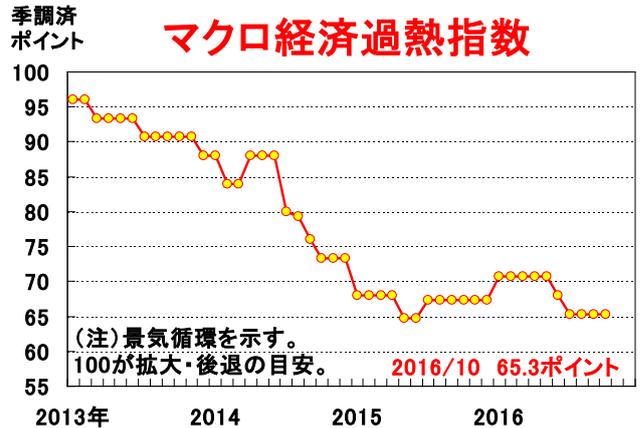
実質GDP



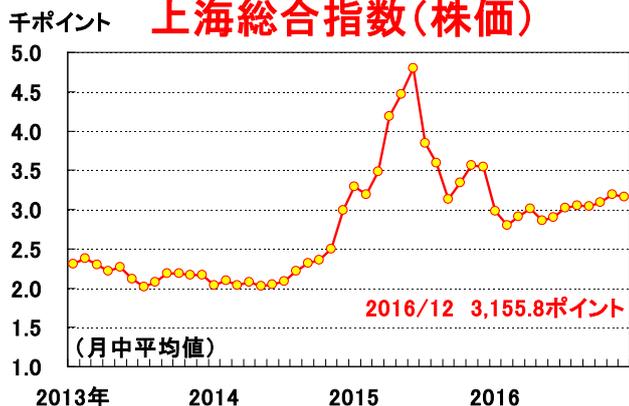
為替レート



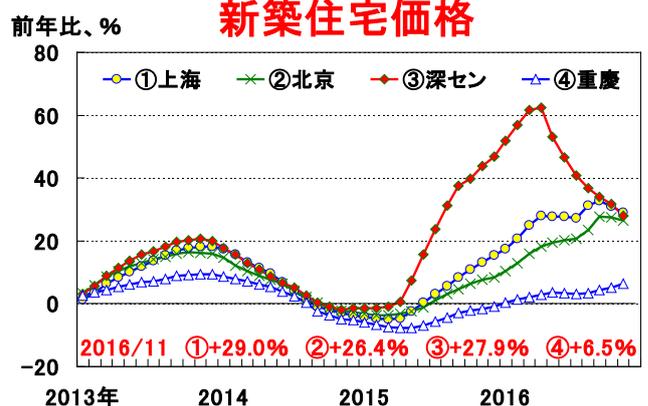
マクロ経済過熱指数



上海総合指数(株価)



新築住宅価格

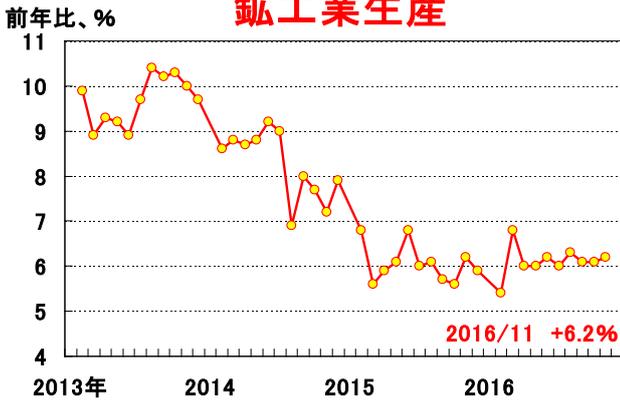


【今月のトピック: 中国、「穏中求進」方針継続】 2016年12月開催の中央経済工作会議では、2017年の習近平体制の経済運営方針が示された。それによると、2017年秋に開催される中国共産党第19回全国代表大会に向けて、経済の安定成長を重視する方針が打ち出された。具体的には、これまでの「穏中求進(経済成長を合理的な範囲に維持しながら、経済の質と効率を向上させる)」という基本方針が再び強調された。今後、インフラ投資プロジェクトの承認加速などによる「積極的な財政政策」の継続や、預金準備率の引き下げなどが模索される見込みである。

(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

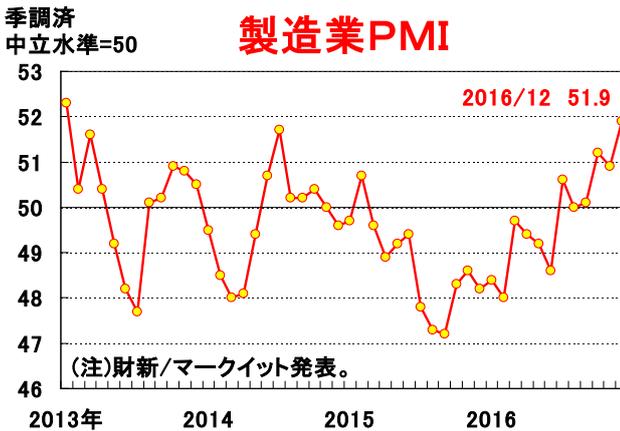
鉱工業生産



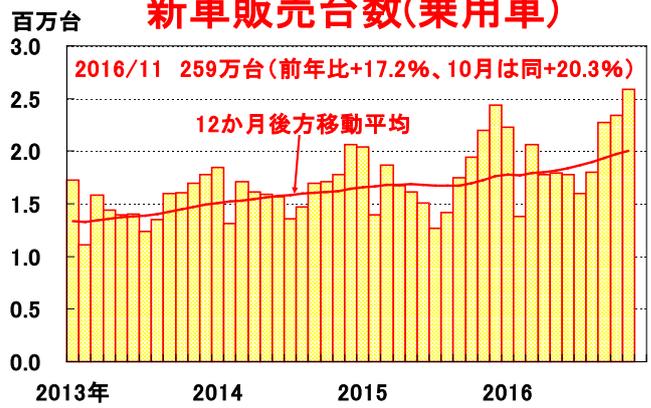
小売売上高



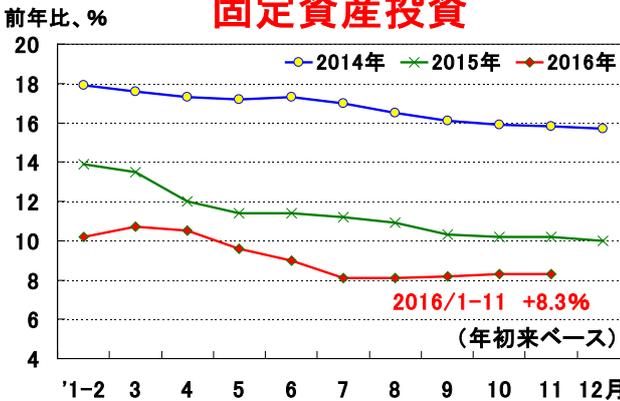
製造業PMI



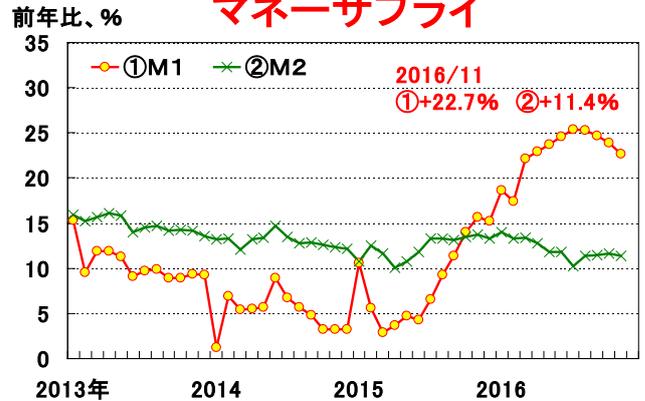
新車販売台数(乗用車)



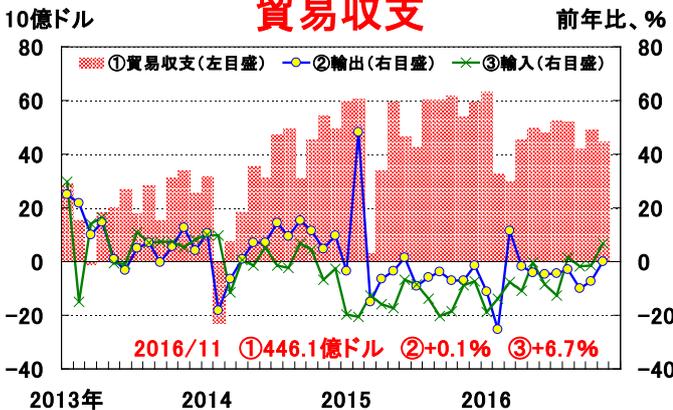
固定資産投資



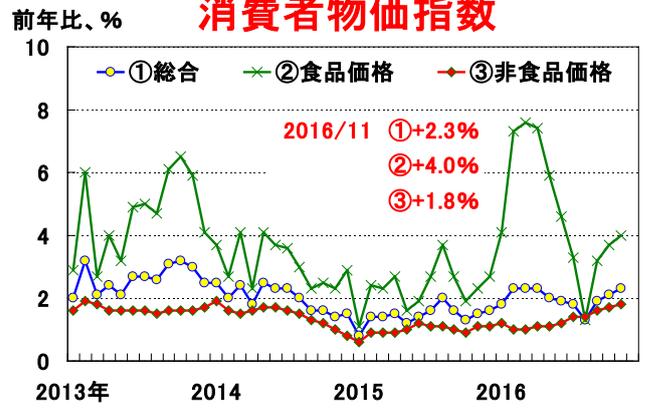
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国汽车工业协会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。